



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 秀男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 早川 恵 (TEL) 048-798-0222
 総務・経理部部长
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,288	△6.3	164	0.7	174	10.0	118	△0.5
2019年3月期第2四半期	1,374	△28.1	163	13.0	158	9.9	118	14.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	44.51		—					
2019年3月期第2四半期	45.09		—					

(注) 2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,049	1,112	36.5
2019年3月期	2,900	1,086	37.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,112百万円 2019年3月期 1,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	0.3	320	△20.2	325	△19.1	220	△19.2	82.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	2,734,675株	2019年3月期	2,734,675株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	112,231株	2019年3月期	63,223株
------------	----------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	2,653,045株	2019年3月期2Q	2,632,665株
------------	------------	------------	------------

(注) 1 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2 当社は「株式給付信託（従業員持株会処分型）」制度を導入しております。信託E口が所有する当社株式（2019年3月期58,600株、2020年3月期2Q45,800株）を期末自己株式数に含めております。また、信託E口が所有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2019年3月期2Q75,555株、2020年3月期2Q52,662株）に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足事項	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の堅調な回復や雇用・所得環境の改善が続く一方、米中間の貿易摩擦を背景に中国での経済成長の減速や貿易縮小など、世界経済の下振れリスクと日本経済への影響も懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

当社が関係するプラスチック加工業界は、今後益々の合理化を進め、競争力を高めなければならない状況にあり、当社としても更なる省エネルギー、省力化の製品の開発を提案して行く方向にあります。

このような状況下、売上高につきましてはインフレーション成形機事業、リサイクル装置事業共に、生産スケジュールの変更もあり前年同四半期に比して減少しました。ブロー成型機事業につきましては、検収納入予定が第3四半期以降となっており、前年同四半期に比して減少しております。利益面につきましては、継続的に押し進めております業務改善により、設計、加工段階での効率化が進むと共に、前事業年度より順次導入しました複数の大型製造設備の稼働に伴い、内製化が進んだ事により利益率が向上する結果となり、営業利益、経常利益が前年同四半期を上回りました。四半期純利益につきましては、法人税、住民税及び事業税が前年同四半期より増加したため、若干の減少となりました。設備投資の面では、今後も部品の内製化の多様化を押し進めるため、下期に最新工作機械の導入を予定するなど、積極的な設備投資を継続的に進めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、12億8千8百万円と前年同四半期と比べ8千6百万円減少(前年同四半期比6.3%減)し、利益面につきましては、営業利益1億6千4百万円(前年同四半期比0.7%増)、経常利益1億7千4百万円(前年同四半期比10.0%増)、四半期純利益1億1千8百万円(前年同四半期比0.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期累計期間における総資産は、前事業年度末と比較して1億4千8百万円増加し、30億4千9百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が3億2千7百万円減少した一方で、現金及び預金が2億3千5百万円、棚卸資産が1億8千7百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末と比較して1億2千2百万円増加し、19億3千6百万円となりました。これは主に未払法人税等が5千4百万円、支払手形及び買掛金が4千9百万円減少した一方で、前受金が2億4千8百万円、借入金が増加した8千3百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、前事業年度末と比較して2千6百万円増加し、11億1千2百万円となりました。これは主に、当第2四半期累計期間に四半期純利益1億1千8百万円を計上しましたが、自己株式が取得と売却により3千6百万円増加(純資産の減少)し、配当金の支払額5千4百万円を計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2019年10月29日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,675	986,578
受取手形及び売掛金	949,482	622,236
製品	34,975	—
仕掛品	153,181	378,036
原材料及び貯蔵品	29,794	26,920
その他	40,570	100,482
貸倒引当金	△430	△313
流動資産合計	1,958,250	2,113,941
固定資産		
有形固定資産		
土地	458,809	458,809
その他(純額)	307,872	311,978
有形固定資産合計	766,682	770,788
無形固定資産		
42,344		38,934
投資その他の資産		
その他	143,823	136,607
貸倒引当金	△13,600	△13,620
投資その他の資産合計	130,223	122,987
固定資産合計	939,250	932,710
繰延資産	3,066	2,723
資産合計	2,900,567	3,049,375
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436,606	387,315
短期借入金	162,120	147,150
前受金	132,098	380,577
未払法人税等	115,384	60,822
製品保証引当金	16,514	15,927
賞与引当金	21,536	28,440
その他	239,308	153,223
流動負債合計	1,123,567	1,173,455
固定負債		
社債	150,100	128,700
長期借入金	377,516	476,049
引当金	14,948	15,588
その他	147,837	142,595
固定負債合計	690,402	762,932
負債合計	1,813,969	1,936,387

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	519,624	519,624
資本剰余金	126,214	126,214
利益剰余金	386,525	450,019
自己株式	△62,982	△99,599
株主資本合計	969,381	996,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,010	△1,498
土地再評価差額金	118,226	118,226
評価・換算差額等合計	117,216	116,728
純資産合計	1,086,598	1,112,987
負債純資産合計	2,900,567	3,049,375

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,374,966	1,288,680
売上原価	912,220	805,241
売上総利益	462,746	483,439
販売費及び一般管理費	299,566	319,063
営業利益	163,179	164,375
営業外収益		
物品売却益	607	261
受取地代家賃	—	7,720
受取保証料	2,046	2,046
為替差益	—	3,572
その他	917	357
営業外収益合計	3,571	13,957
営業外費用		
支払利息	1,861	2,041
為替差損	2,485	—
その他	3,787	1,770
営業外費用合計	8,135	3,812
経常利益	158,616	174,520
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	7,260	—
特別利益合計	7,260	—
税引前四半期純利益	165,876	174,520
法人税、住民税及び事業税	37,520	55,181
法人税等調整額	9,644	1,245
法人税等合計	47,165	56,427
四半期純利益	118,710	118,093

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	165,876	174,520
減価償却費	26,135	30,216
引当金の増減額(△は減少)	△24,573	6,859
受取利息及び受取配当金	△271	△321
支払利息	1,861	2,041
売上債権の増減額(△は増加)	△208,440	575,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	82,639	△187,005
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,737	△103,103
その他	18,608	△53,002
小計	14,097	445,930
利息及び配当金の受取額	271	321
利息の支払額	△1,904	△2,122
法人税等の支払額	△15,222	△107,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,758	336,489
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,606	△55,448
投資有価証券の取得による支出	△299	△299
その他	1,760	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,146	△55,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△96,790	△116,437
社債の償還による支出	△21,400	△21,400
自己株式の売却による収入	8,197	9,929
自己株式の取得による支出	△49,964	△49,252
配当金の支払額	△39,454	△54,110
その他	△8,751	△13,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,162	△44,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,067	235,902
現金及び現金同等物の期首残高	460,078	656,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	443,011	892,562

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	40,647	1.50	2018年 3月31日	2018年 6月28日

(注) 2018年6月27日定時株主総会の決議による配当金の総額には、信託E口が保有する当社株式に対する配当金1,194千円が含まれております。

2 株主資本の著しい変動

- 2018年7月17日開催の取締役会決議により、譲渡制限付株式報酬として2018年8月13日を払込期日として194,174株の新株を発行いたしました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金が9,999千円、資本準備金が9,999千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が519,624千円、資本剰余金が141,387千円となっております。
- 2018年8月27日開催の取締役会決議により、自己株式444,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において、自己株式が49,909千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が125,944千円となっております。

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	54,599	20.00	2019年 3月31日	2019年 6月28日

(注) 1 2019年6月27日定時株主総会の決議による配当金の総額には、信託E口が保有する当社株式に対する配当金1,172千円が含まれております。

2 1株当たり配当額には第60期記念配当5円が含まれております。

2. 株主資本の著しい変動

2019年5月14日開催の取締役会の決議等により、自己株式61,808株を49,252千円にて取得し、「株式給付信託制度(従業員持株会処分型)」による自己株式の従業員持株会への売却12,800株、12,636千円(売却原価)を行っております。この結果、当第2四半期会計期間末において自己株式が99,599千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

自己株式の取得

当社は、2019年5月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするとともに、株主還元の強化及び資本効率の向上を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類：当社普通株式

(2) 取得する株式の総数：75,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.74%)

(3) 株式の取得価額の総額：50,000千円(上限)

(4) 取得期間：2019年5月20日～2019年11月29日

(5) 取得方法：東京証券取引所における市場買付

3. 上記取締役会決議に基づき当第2四半期累計期間に取得した自己株式(2019年9月30日時点)

(1) 取得した株式の総数：61,700株

(2) 株式の取得価額の総額：49,180千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足事項

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	836,742	1.9
ブロー成形機事業	102,440	△33.6
リサイクル装置事業	46,080	△12.1
合 計	985,262	△4.1

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	750,068	△4.1	742,118	24.7
ブロー成形機事業	251,124	△48.2	900,058	108.7
リサイクル装置事業	66,020	2.9	38,600	△4.2
合 計	1,067,212	△19.8	1,680,776	57.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	842,592	△0.2
ブロー成形機事業	150,923	△35.1
リサイクル装置事業	46,380	△7.1
メンテナンス事業	248,784	0.3
合 計	1,288,680	△6.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。